

(公社)日本鑄造工学会生型研究部会シンポジウム議事録

日時：2018年11月16日(木) 10:30~17:00

場所：ミッドランドスクエア 5F 会議室 A(〒450-0002 名古屋市 中村区 名駅 4 丁目 7-1)

出席者：前田部会長(大同大)、佐藤(前会長、日本鑄造工学会)、金森(元部会長、金森メタル)、丸山(関西大学)、石井(アイメタル)、戸高(NOK)、渡邊・林(KANAMORI)、山村(金森メタル)高木(クニミネ)、松本、丸尾(クボタ)、井上(虹技)、西野(コマツ)、田中・船曳(コヤマ)、落岩(JFE 継手)、小倉(新東工業)、永田(大鉄産業)、三宅(大洋マシナリー)、樋口(中央可鍛工業)、黒川(ツチヨシ産業)、坂井・後藤(丹羽鑄造)、伊藤(浜北工業)、高橋・遠藤(福島製鋼)、賀来(ボルクレー)、西原・宮林(森川産業)、森川(森川鉄工)、勝野・中山(ヤマトインテック) 栗熊(アドバイザー、栗熊技術)、軍司(アドバイザー、瓢屋)、鈴木(元北海道大学)、川島(幹事 マツバラ)、曾根(幹事 瓢屋)

以上 38 名(敬称略, 順不同)

※事前申込者含め総勢 63 名

議事

1. 平成 30 年 生型研究部会シンポジウム

第 3 回研究部会は前部会「生型砂管理技術の再構築Ⅱ」をテーマとした活動報告シンポジウムを兼ねて開催された。

2. 資料

研究報告 123 「生型砂管理技術の再構築Ⅱ」平成 30 年 11 月 16 日
研究報告書の中から下記の発表が行われた。

3. プログラム

10:30~10:35 開会の挨拶

10:35~11:30 生型とベントナイトの特性 元)北海道大学 鈴木敬三氏

11:30~14:30 <砂管理への各社の最新取り組み事例> (11:50~12:50 昼休憩含む)

JFE 継手株式会社	落岩秀樹氏
福島製鋼株式会社	遠藤裕太氏
株式会社コヤマ	田中直也氏
中央可鍛工業株式会社	樋口茂氏
株式会社クボタ	松本圭司氏
株式会社小松製作所	西野剛氏

14:45~16:50 <新しい管理技術へ向けての基礎技術>

「高温鑄物砂への散水における冷却挙動」 大同大学 前田安郭教授

「生型砂のリートベルト解析」 株式会社ツチヨシ産業 黒川豊氏

「生砂処理設備でのセンシングによる砂性状の見える化とコントロール」

新東工業株式会社 小倉裕一氏

「鑄物砂性状自動測定装置の開発」 KANAMORI SYSTEM Inc 林 正憲氏

「青銅の生型鑄造における鑄型内温度・ガス圧の同時測定」 関西大学 丸山徹教授

16:55~17:00 閉会の挨拶

以上